

# 文藝言語研究

## 文藝篇

### 目次

George Gascoigne in 1575 —ケニルワース・エンターテインメントと少年劇団— .....	佐野隆弥	1
アレクサンドリアのクレメンス「断片集」 —全訳— .....	秋山学	19

## 言語篇

### 目次

日本語受動文の統語構造再考（1） .....	加賀信広	59
日本人学生のブラジル人学校訪問によるブラジル人生徒の 日本語学習意欲の変化と日本人学生の学び .....	一二三朋子	83

2016

69

筑波大学大学院

人文社会科学研究所 文芸・言語専攻

## 文芸・言語専攻名簿

相澤啓一	青木三郎	青柳悦子	秋山佳奈子
秋山学	池田潤	池田晋	石田尊
○石田プリシラ	◎石塚修	伊藤眞	白山利信
大江元貴	大倉浩	大矢俊明	小川美登里
長田友紀	加賀信広	加藤百合	金谷優
稀代麻也子	木田剛	清登典子	金仁和
窪田悠介	小松建男	小松優香	Collins Kristen J
齋藤一	佐野隆弥	○澤田浩子	島田雅晴
島田康行	新保邦寛	杉本章吾	杉本武
田川拓海	竹沢幸一	谷口孝介	近本謙介
Tsygalnitsky Elena	那須昭夫	沼田善子	橋本修
浜名恵美	馬場美佳	菱川邦俊	一二三朋子
廣瀬幸生	Heselhaus Herrad	増尾弘美	松崎寛
松下聖	宮本エジソン正	宮本陽一郎	本井牧子
矢澤真人	吉原ゆかり	和氣愛仁	鷲津浩子
和田尚明	渡邊淳也		

(◎印は編集委員長 ○は編集委員)

# 『文藝言語研究』投稿規定

## 1. 投稿資格

『文藝言語研究』に投稿資格を有する者は、以下の通りである。

- (1) 文芸・言語専攻の構成員
- (2) 文芸・言語専攻会議が認めた者（このことについては、紀要委員会が提案し、専攻教員会議で決定する）

## 2. 論文形式

- ・論文の形式については、文学・言語学関係の分野の国際的あるいは日本国内の全国的な学会誌・専門誌において用いられているものを使用する。
- ・論文の長さについては、特に規定を設けない。ただし、論文が長い場合には、紀要委員会の判断により分割掲載を行うことがある。

## 3. 投稿方法

- ・投稿を行うには、定められた期限までに紀要委員会に申し込み用紙を提出する。
- ・投稿に際しては、電子媒体ファイルとハードコピー1部に投稿票を添えて紀要委員会に提出する。

## 4. 採否の決定

- ・投稿原稿の採否は、紀要委員会が指名する査読者による査読を経て、紀要委員会で決定し、投稿者に報告する。
- ・採否決定について不服がある場合、投稿者は紀要委員会に申し立てができる。投稿者からの不服申し立てに対しては、紀要委員会が新たな査読者に査読を依頼してさらに審査を行い、最終決定を行う。

## 5. その他

詳細は別途定める。

『文藝言語研究』69巻 査読委員

秋 山 学 石 田 尊 石 田 プリシラ 佐 野 隆 弥

## 編 集 後 記

前回から合冊となり、国立国会図書館からのご指示で、あらためて書籍ナンバーをとりなおしました。おそらく、劇的な経費の増配がないかぎり、今後とも合冊で発行することになるでしょう。大学や大学院の学位プログラム化など大学をとりまく環境がとにかく目まぐるしく変化する時代の潮目にあって、人文系の研究そのものの「カタチ」も社会から問われています。しかし「不易流行」の「不易」はそうした時代の風潮を超越して存在するものだと確信いたします。そして、その成果は「直ちに」ではなく「悠かに」見えることを、ここに記しておきたいと存じます。

(石塚 修)

---

### 文藝言語研究 (第69巻)

2016年3月31日発行

発 行 所 筑波大学大学院  
人文社会科学研究科 文芸・言語専攻  
茨城県つくば市天王台1丁目1番地  
電 話 (029)853-4340 (〒305-8571)

印 刷 所 第一印刷株式会社

---

# *STUDIES IN LANGUAGE AND LITERATURE*

## Literature

### CONTENTS

George Gascoigne in 1575: Queen Elizabeth's Entertainment at Kenilworth and a Boy Company .....	SANO Takaya	1
Clemente Alessandrino, <i>Frammenti</i> (traduzione giapponese) .....	AKIYAMA Manabu	19

## Language

### CONTENTS

The Syntactic Structure of Japanese Passives Revisited (1) .....	KAGA Nobuhiro	59
The influence of visiting Brazilian school to both Brazilian school pupils and Japanese university students .....	HIFUMI Tomoko	83

2016

69

Doctoral Program in Literature and Linguistics

University of Tsukuba